

街づくりへのA I D A手法の適用

長崎大学工学部 学生員〇二本木清隆

同 上 正 員 杉山 和一

同 上 正 員 清島 豊

同 上 正 員 後藤恵之輔

1. はじめに

本研究は、長崎市の中心部に隣接する中通り商店街について、その活性化のために戦略的選択アプローチの中で提案されているA I D A手法を適用し、その適用性を検討することを目的としている。

2. A I D A手法の概要

A I D A手法は、計画を時間の経過に応じて戦略的に選択していくプロセスと見なす手法である戦略的選択アプローチ¹⁾、²⁾において、問題の明確化と代替案の作成のために用いられる手法である。すなわち、計画問題を、択一的な意思決定を要する選択領域を表すデシジョンエリア(問題となる分野)と、その領域内で選択できる選択肢であるオプションを、それらの排反関係によって構造化し、それぞれのデシジョンエリアから一つずつ選択されたオプションの集合である実行可能な代替案を網羅的に列挙するものである。

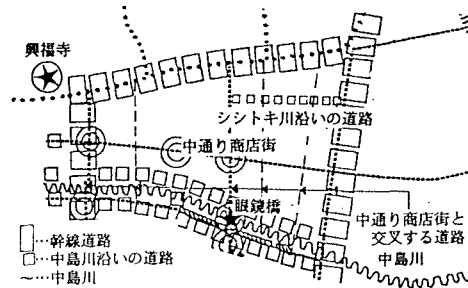


図-1 対象地区の位置

3. 対象地区の状況

本研究で取り上げる中通り商店街は、江戸時代唯一の外国との窓口であった長崎の、まちの中核をなしていた長崎の精神文化を、まち並みとともに残す歴史ある伝統的地区である。さらに本地区は、大陸文化と長崎の下町の文化とが混在し、長崎の心象風景を表現する代表的な場所となっている。

しかし、中通り商店街の年間商品販売額はほぼ横ばい状態であるが、長崎市全体に対する割合は減少している。歩行路は幅員が狭いため歩行性が悪く、看板・広告物が氾濫しているため景観的に好ましくない。また、中通り商店街に道路が直交しているため歩行者にとってたいへん危険である。さらに、シントキ川沿いの道路では、幅員が狭い上に自転車・バイクの放置のため、たいへん歩行性が悪い状況となっている。

4. A I D A手法の適用

中通り商店街、中通り商店街と交叉する道路、及び、シントキ川沿いの道路の3地

表-1 デシジョンエリアとオプション

デシジョンエリア	オプション	特徴
(中通り商店街)		
I. 街路工事	1.整備のみ 2.12m拡幅	歩行性、景観が改善される 既存の景観が失われる
II. 街路区分	1.歩行者専用 2.歩車共存 3.歩車分離	危険性は最も少ない 危険性は大きい 危険性は少ない
III. ポケットパークの設置	1.設置する 2.設置しない	地域環境が改善される
(中通り商店街と交叉する道路)		
IV. 街路工事	1.現状通り 2.整備のみ	景観が改善される
V. ポケットパークの設置	1.設置する 2.設置しない	地域環境が改善される
VI. 交通規制	1.現状通り 2.一方通行	通過交通が減少する
VII. 歩車共存道路の設置	1.設置する 2.設置しない	通学路、観光客の誘導に有効
VIII. 磨屋小学校の建替	1.現状通り 2.文化施設を併設	
(シントキ川沿いの道路)		
IX. 街路工事	1.現状通り 2.整備のみ 3.拡幅(歩行者専用) 4.拡幅(一方通行)	景観が改善される 歩行性が改善される 危険性は大きい
X. 交通規制	1.歩行者専用 2.一方通行	危険性は最も小さい 危険性は大きい

点について、問題となる分野をデシジョン
エリアとして列挙し、その選択肢であるオ
プションを設定する（表-1）。

デシジョンエリア間の相互関係を考慮して、両立し
得ないものをオプションバー（*）として設定しオプ
ションマトリックスに示す（表-2）。

オプションマトリックスによって示された両立し得
ないオプションを考慮しながら、各デシジョンエリア
からオプションを選択し、その集合として求めた実行
可能なものを代替案として示す（表-3）。ただし、表-
3において、DAはデシジョンエリア、[,] のオ
プションはいずれも選択可能であることを示している。

デシジョンエリア10項目から全てのオプションの組
み合わせ3072通りについて、オプションバーが引かれ
ているか否かを捜すことにより、実行可能な代替案で
ある768通りの組み合わせが抽出できた。

今回、デシジョンエリアに対しての各オプションを実行した際に、いかなる長所、短所があるのかとい
うことを特徴として表-1に明記した。そこで抽出された768通りの代替案を比較・選択する際に、この
特徴を参照することで代替案の優位性比較を容易に行うことができ、最適代替案を求めやすいことから、
本手法は従来のAIDA手法を改善した手法である
と言える。

表-2 オプションマトリックス

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	
I	1	2	1	2	3	1	2	1	2	1	2
II	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
III	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
IV	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
V	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
VI	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
VII	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
VIII	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
IX	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2
X	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2

表-3 代替案

DAI	DAII	DAIII	DAIV	DAV	DAVI	DAVII	DAVIII	DAIX	DAX
[1]	[1]	[1, 2]	[1]	[2]	[1, 2]	[2]	[1, 2]	[1]	[1]
[2]	[1, 2, 3]	[1, 2]	[2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[2]	[1]
[3]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[3]	[1]
[4]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[4]	[2]
[1]	[1]	[1, 2]	[1, 2]	[2]	[1, 2]	[2]	[1, 2]	[1]	[1]
[2]	[1, 2, 3]	[1, 2]	[2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[2]	[1]
[3]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[3]	[1]
[4]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[1, 2]	[4]	[2]

5. おわりに

本研究において従来のAIDA手法を改善した点は、各オプションに特徴として長所、短所を明示した
ことである。そうすることにより、抽出した代替案から比較・選択する作業を容易に行えることになる。
また、街づくりへの適用性にも有効であると思われる。

【参考文献】

- 1) 中川：戦略的選択アプローチ（SCA）の技法，戦略的選択アプローチ 第25回土木計画学シンポジ
ウムテキスト，pp. 27～38，1991.
- 2) Friend, J・Hickling, A・古池・中川訳：社会計画のための戦略的選択アプローチ，
技報堂出版，1991.
- 3) 長崎市都市計画課：中島川・寺町地区 景観形成計画及び景観形成基準（報告書），p. 1，1991.